

平城宮跡歴史公園南側地区の整備に関する検討委員会（第4回）

議事概要

日時：2023年2月8日(水) 10:00~11:30

場所：奈良県文化会館 多目的室

出席者：田辺 征夫氏、下村 由加里氏、堂上 健次氏、仲西 範嘉氏、
中村 孝氏、福井 義尚氏、宮城 俊作氏、向山 敦夫氏

検討委員会（第4回）は、未成熟な情報を公にすることにより、県民等の誤解や憶測を招くおそれがあるため、および新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非公開で開催。

議事 パブリックコメントの実施結果と整備計画（案）について

○委員からの主な意見の概要

- ・パブリックコメントでは全世代からの関心が高いことがわかり、事業を進めるにあたり心強い結果となった。
- ・公園整備のパブリックコメントならば20~30代からの意見が多くなる傾向がある。歴史性を踏まえつつ、将来的に周辺からの様々なニーズに応えられる余地を残した整備とすることが重要。
- ・近隣の子どもたちは公園整備に期待を持っている。期待に応えられるコンセプトにまとまったと感じる。
- ・公園に求められる多様なニーズに、国営公園と県営公園で役割分担をしながら連携して整備していくことが重要。
- ・子どもも楽しめる施設の充実を求める意見については、常設遊具だけではなく、移動式の遊具などで対応することも可能。
- ・今後の設計段階において、便益施設を整備する民間事業者、バス事業者等に意見聴取していくことは重要。
- ・整備計画は、歴史的な雰囲気を出すためにも整備する建物は、必要最低限度に抑えており、ニーズの変化等に応えられる余地を残した計画となっている。パブリックコメントの多様な意見を反映できたのではないか。
- ・大宮通りの横断について、引き続き安全対策を検討すべき。
- ・屋根付きの閉鎖的な駐輪場は整備しない方がよい。配置については、駐車場と便益施設の動線上に設けることが適切か、民間事業者の意見を踏まえ設計段階でよく検討すべき。
- ・歴史性があるところに高さのある噴水は控えた方がよい。また、南側地区を目的地とした観光バスは来ないのではないか。それぞれ、整備イメージから表現を削除すべき。
- ・本日の意見を踏まえ、「パブリックコメントの実施結果概要」及び「整備計画（案）」を修正し、公表に向けた手続きを進めてよい。

以上